

ブレーキフルード交換

■適応車種

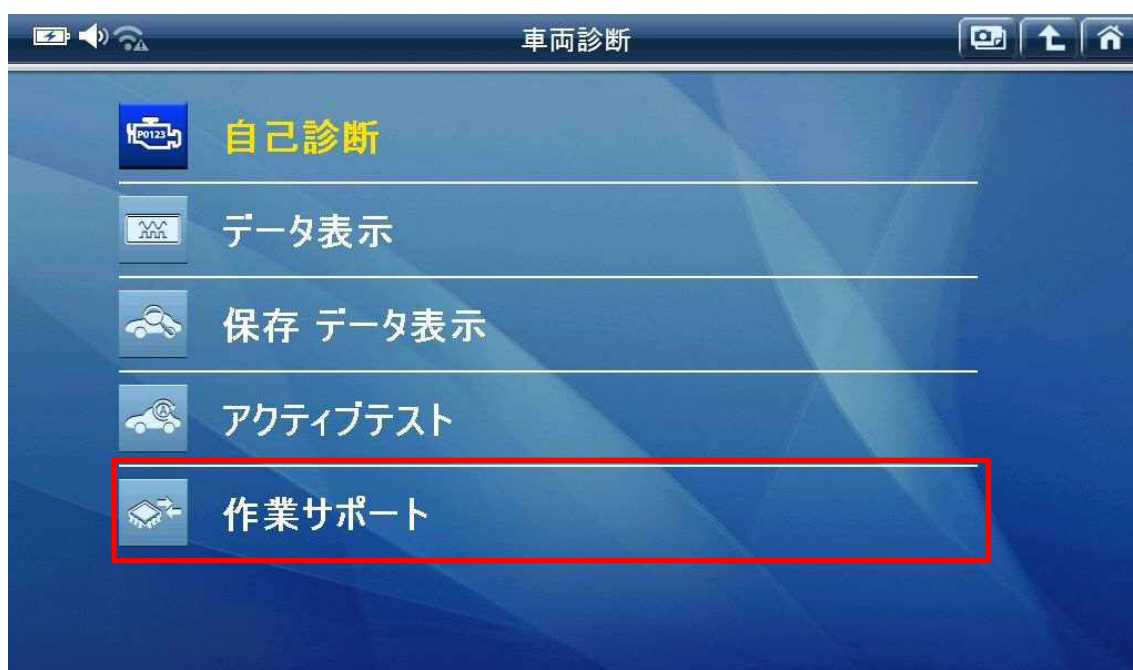
プリウス(ZVW5#)等

以下に故障診断機(G-scan)を使用した『ブレーキフルード交換』の方法を記載します。参考にしてください。

※注意※

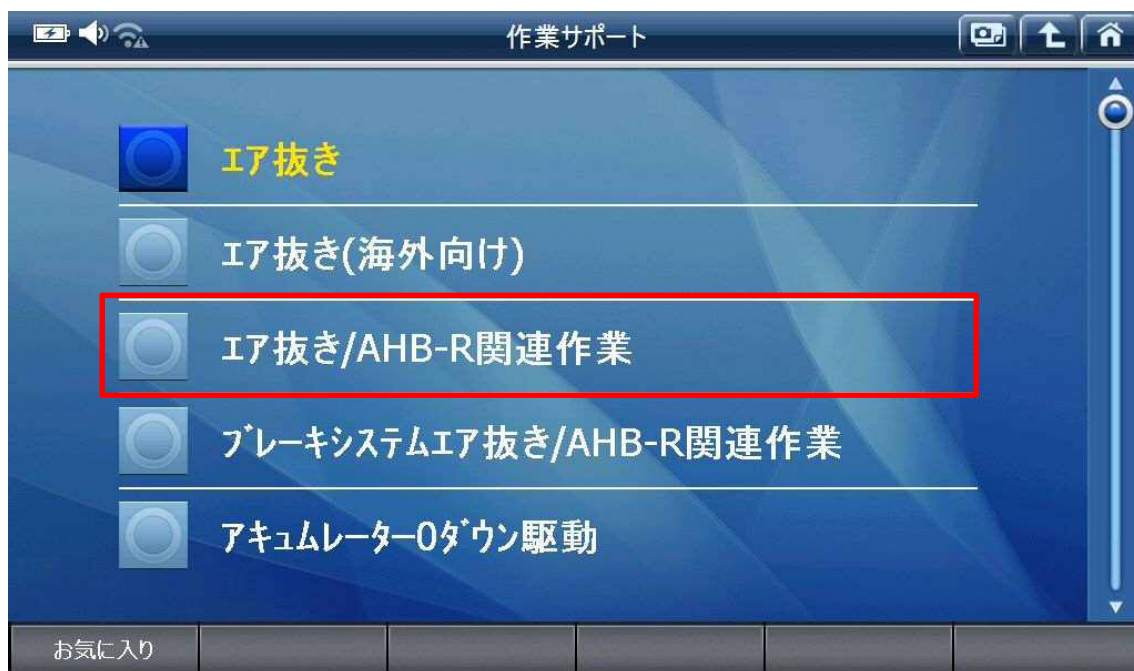
- ・ブレーキフルード取替はシフトポジション P およびパーキングブレーキを効かせた状態で行ってください。
- ・ブレーキフルード取替実施中にアキュムレータ圧低下によりブザーが作動する場合がありますが、異常ではありませんので作業はそのまま続けてください。
- ・ブレーキフルード取替完了後および手順中に指示がある場合は、故障コードを消去してください。
- ・ブレーキフルード取替の際、ポンプモータ保護のため連続駆動は 100 秒以内で行い、ブレーキペダルを解放してポンプモータ駆動をいったん停止させてください。

1. IG OFF の状態で、G-scan を DLC3 コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
2. IG SW ON の状態で、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『ABS/VSC/TRC』を選択してください。
3. 診断メニューにおいて、『作業サポート』項目を選択してください。



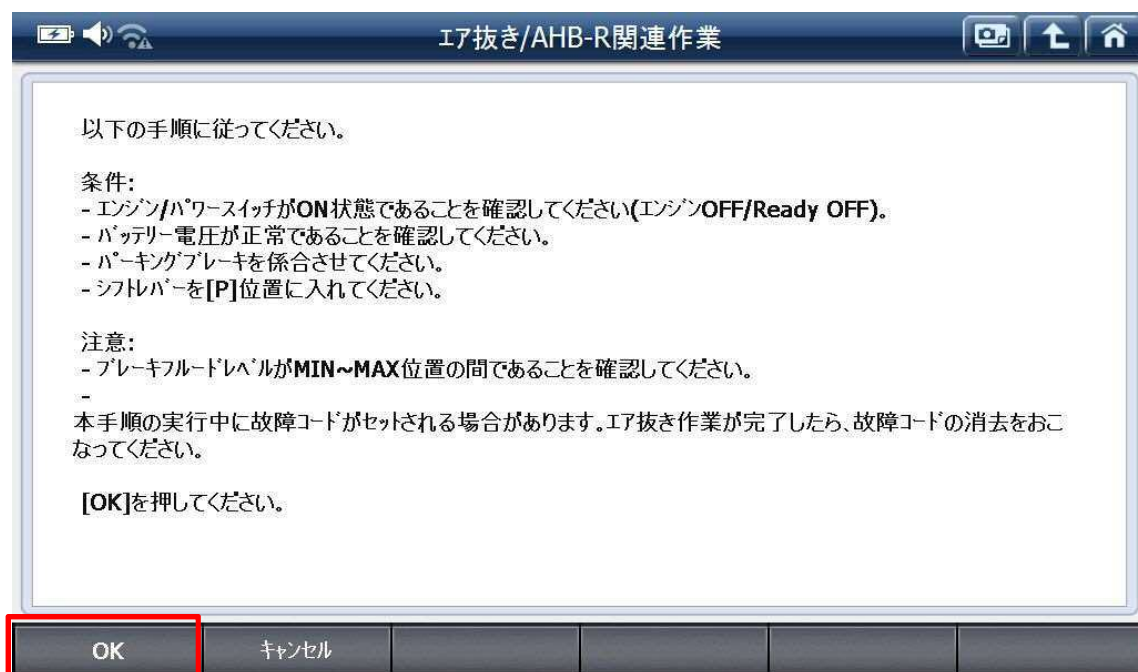
〈図:作業サポート選択画面〉

4. 『エア抜き/AHB-R 関連作業』を選択してください。



〈図: エア抜き/AHB-R 関連作業選択画面〉

5. 注意メッセージ及び条件を確認後、『OK』を選択してください。



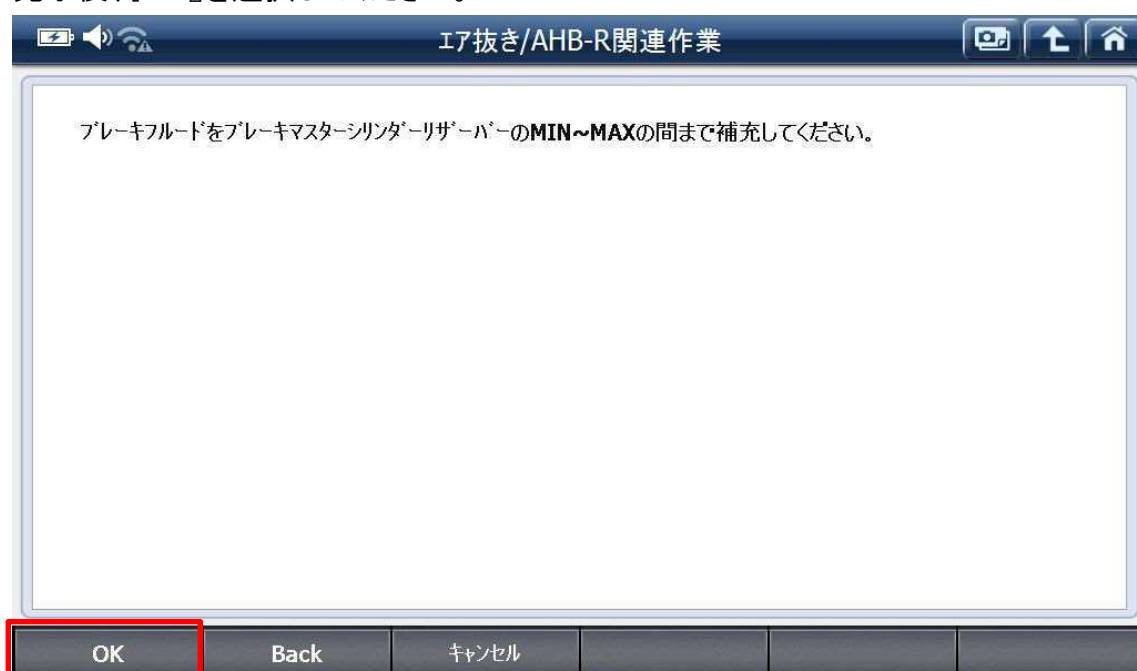
〈図: 注意メッセージ及び条件確認画面〉

6. ブレーキマスターシリンダー リザーバーフィルターキャップを取り外してください。
完了後、『OK』を選択してください。



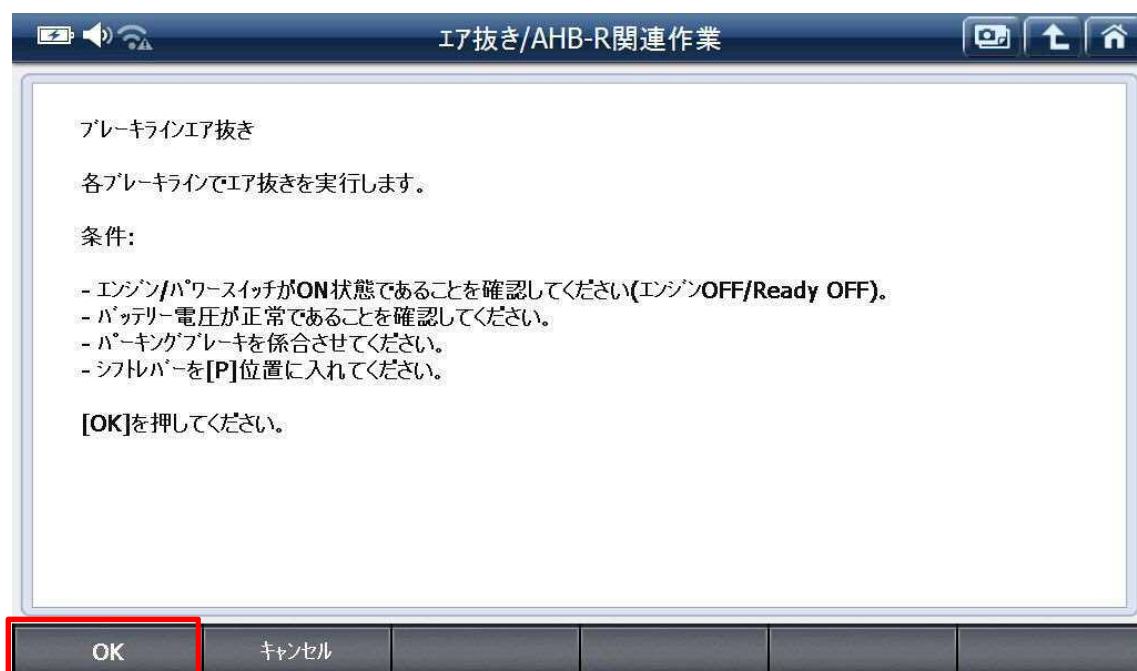
〈図: キャップ取り外し確認画面〉

7. ブレーキフルードを補充してください。
完了後、『OK』を選択してください。



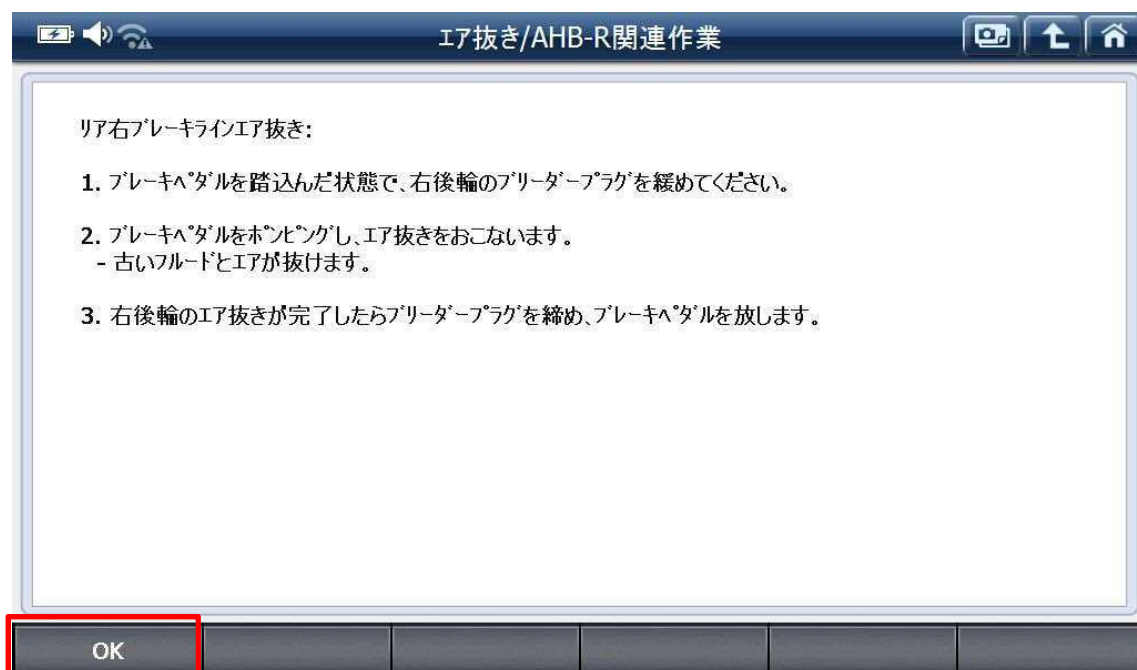
〈図: ブレーキフルード補充画面〉

8. 条件を確認後、『OK』を選択してください。



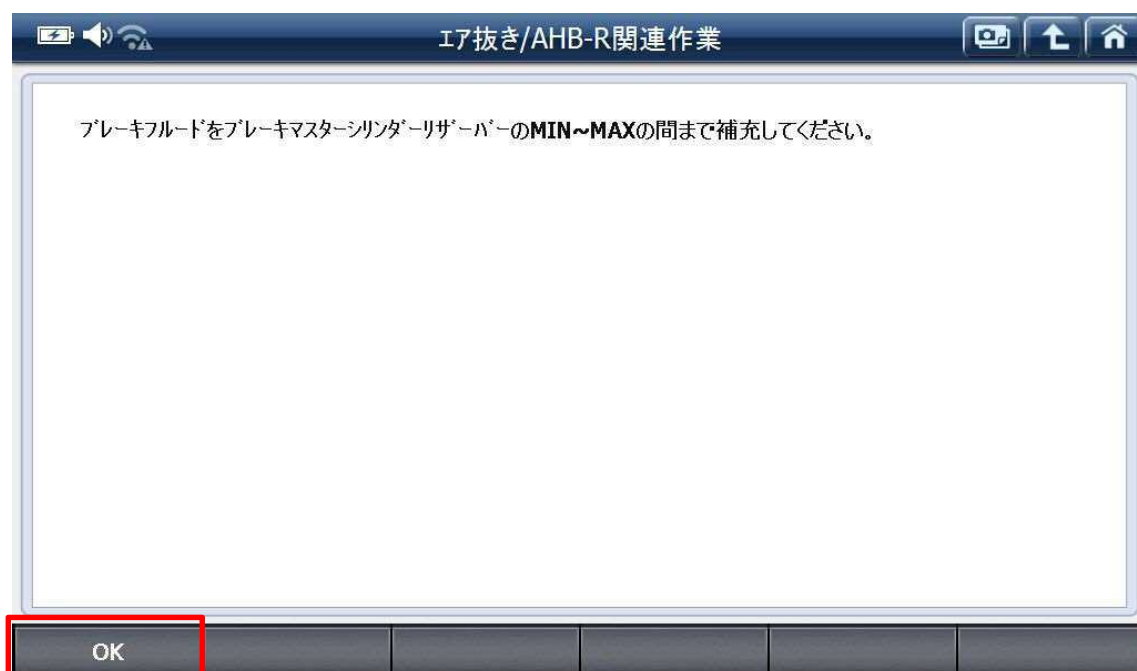
〈図: 条件確認画面〉

9. リア右のブリーダプラグよりエア抜きを行ってください。完了後、『OK』を選択してください。



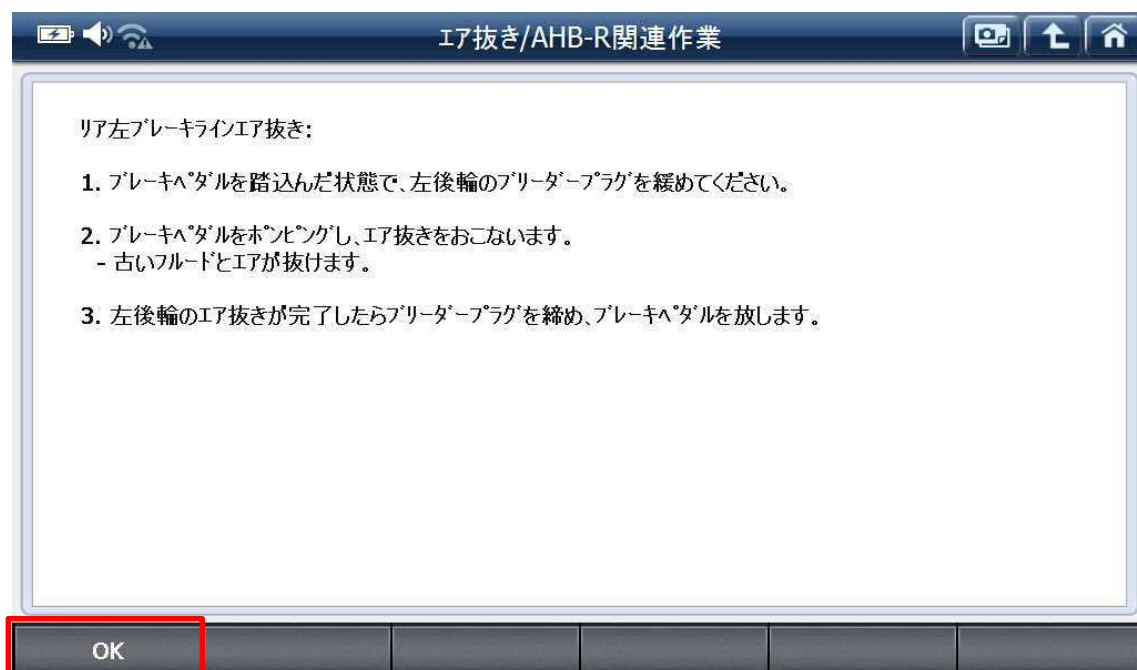
〈図: リア右エア抜き画面〉

10. ブレーキフルードを補充してください



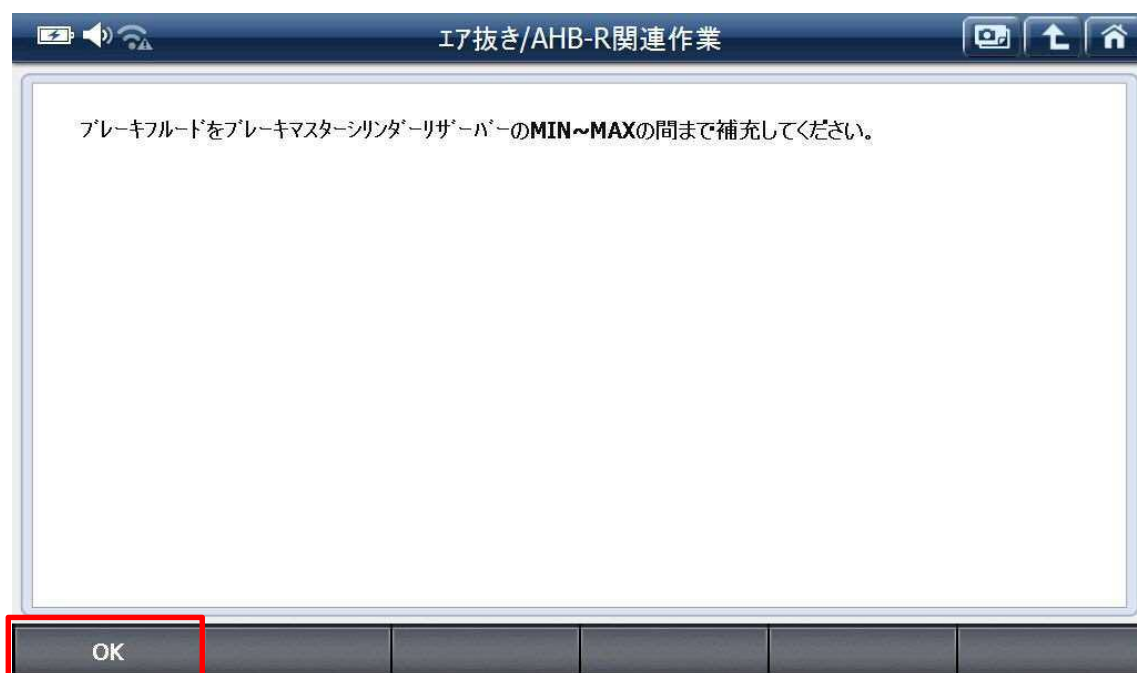
〈図:ブレーキフルード補充画面〉

11. リア左のブリーダプラグよりエア抜きを行ってください。完了後、『OK』を選択してください。



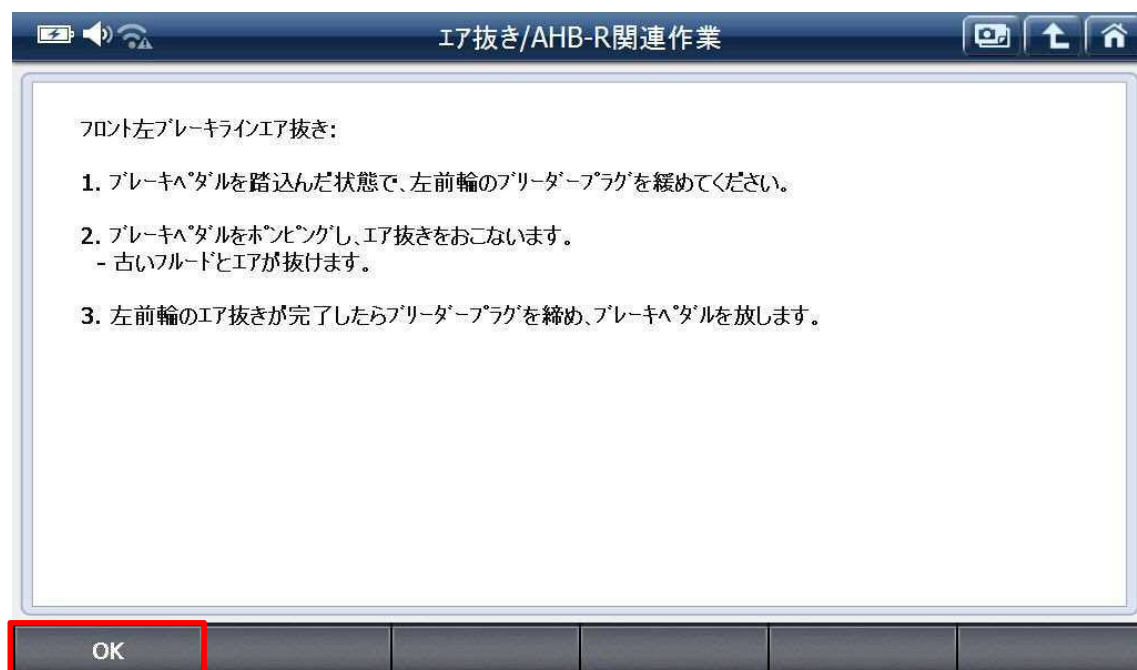
〈図:リア左エア抜き画面〉

12. ブレーキフルードを補充してください。



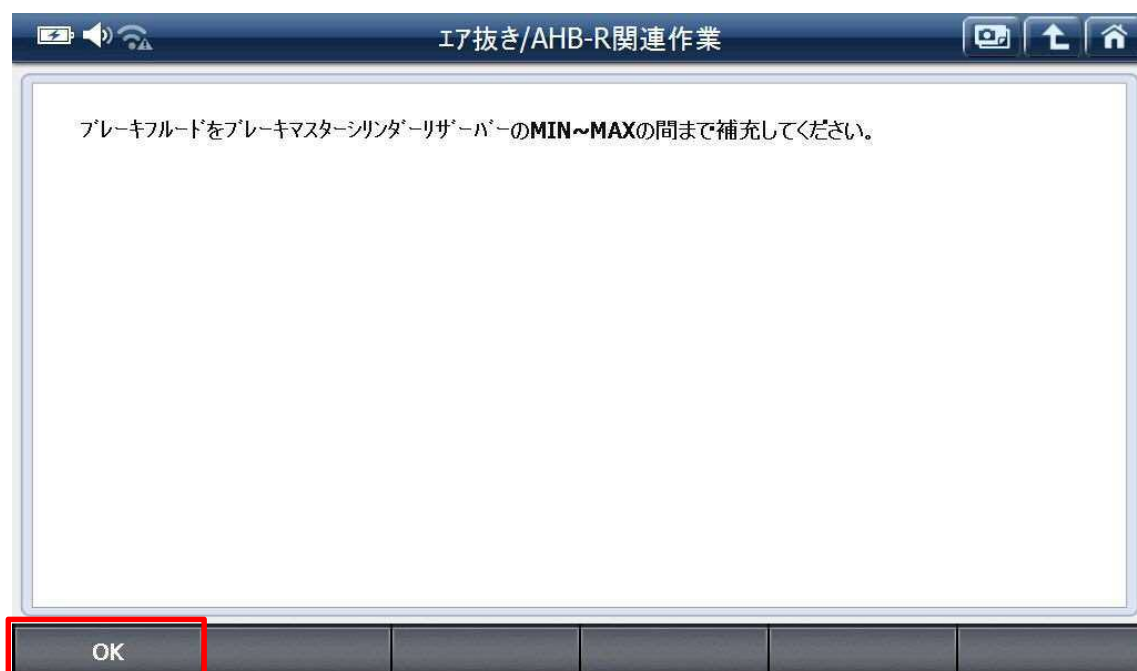
〈図:ブレーキフルード補充画面〉

13. フロント左のブリーダプラグよりエア抜きを行ってください。完了後、『OK』を選択してください。



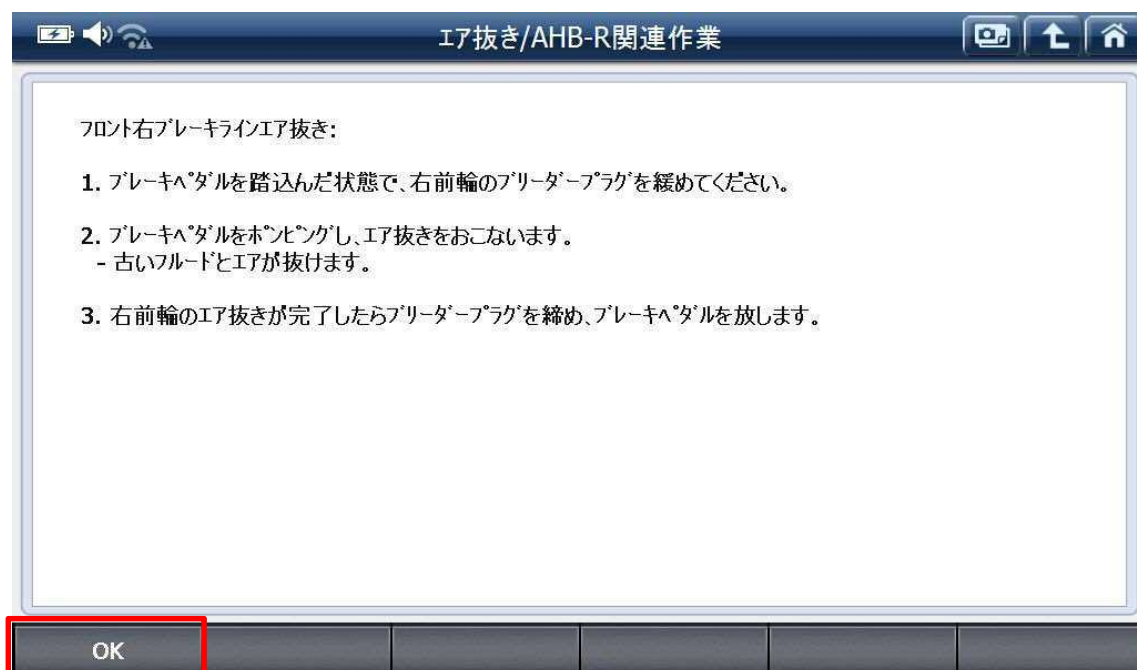
〈図:フロント左エア抜き画面〉

14. ブレーキフルードを補充してください。



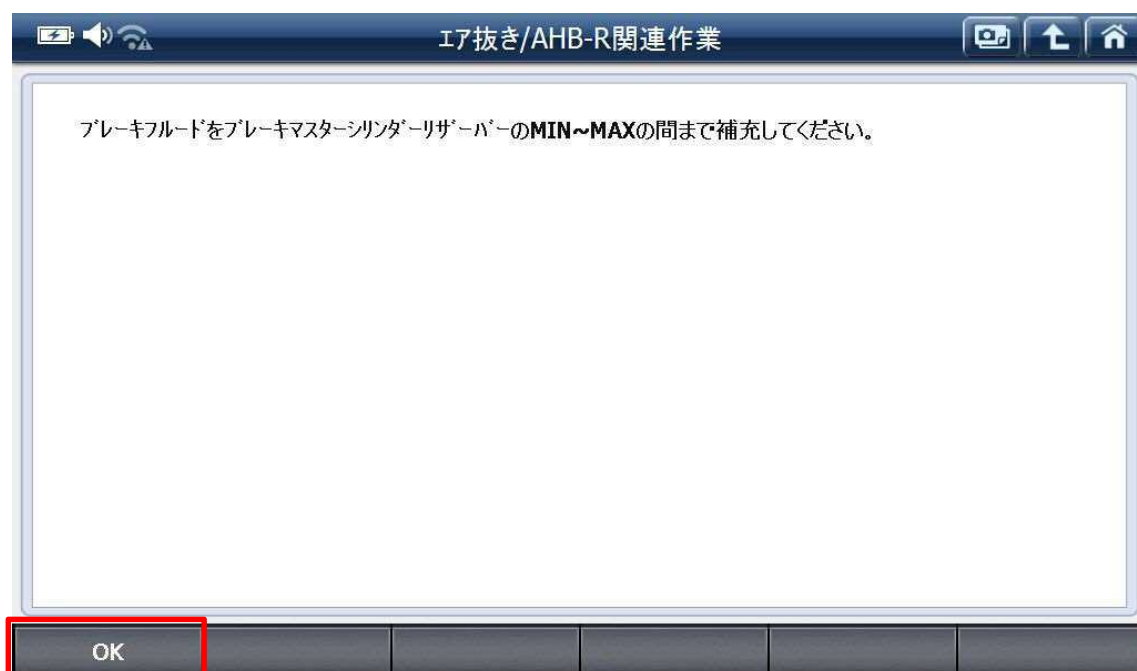
〈図:ブレーキフルード補充画面〉

15. フロント右のブリーダプラグよりエア抜きを行ってください。完了後、『OK』を選択してください。



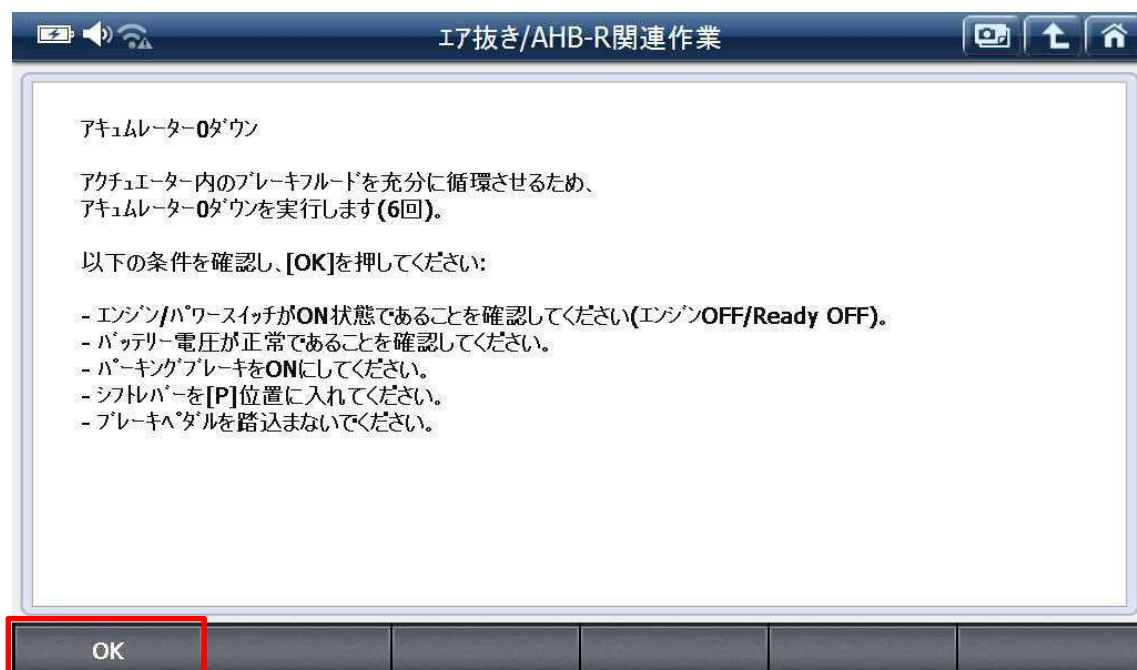
〈図:フロント右エア抜き画面〉

16. ブレーキフルードを補充してください。



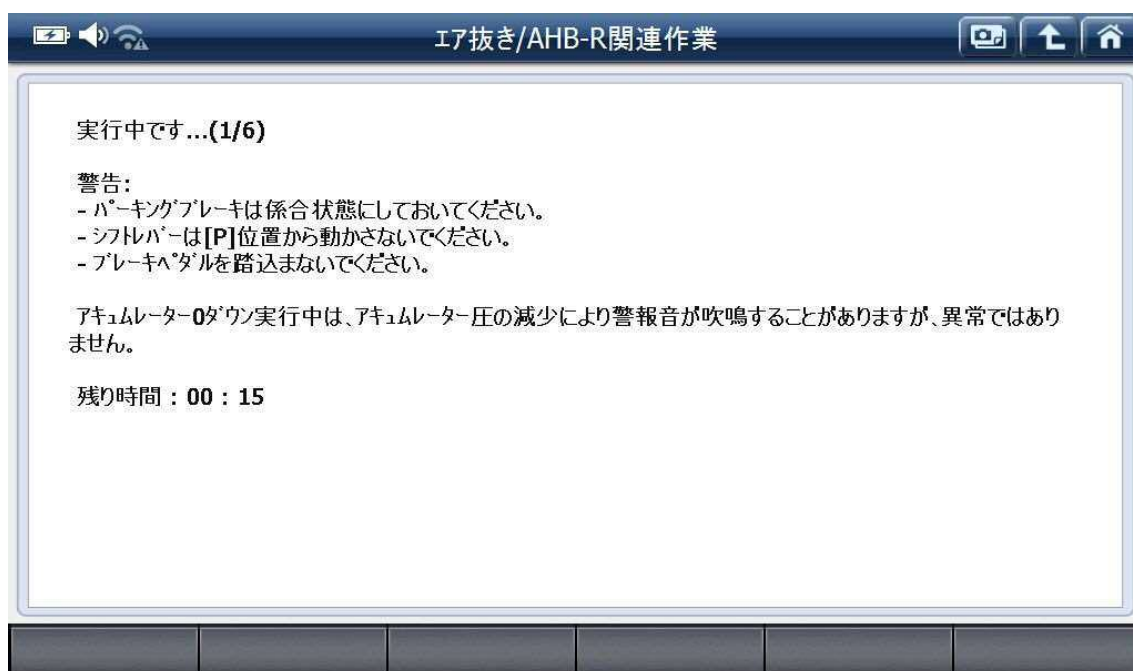
〈図:ブレーキフルード補充画面〉

17. フルードの量を調整します。『OK』を選択してアキュムレータの圧力が下がるまでお待ち下さい。



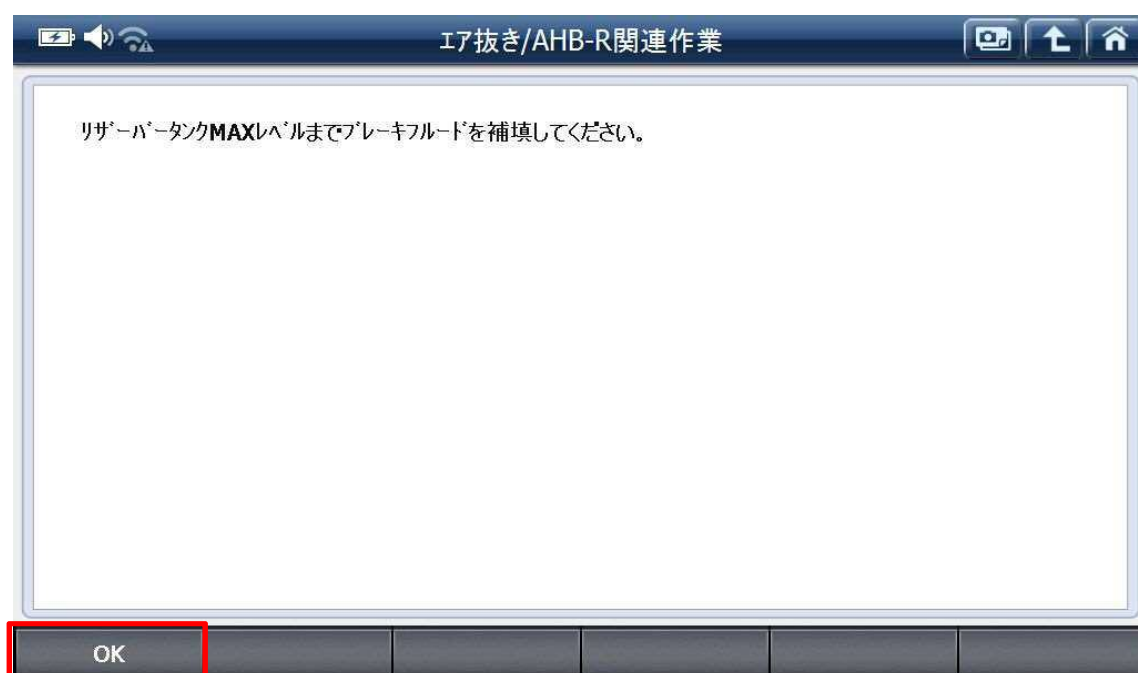
〈図:アキュムレータ圧力低下実施画面〉

18. 操作画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。
アキュムレーター0 ダウンを6回繰り返します。



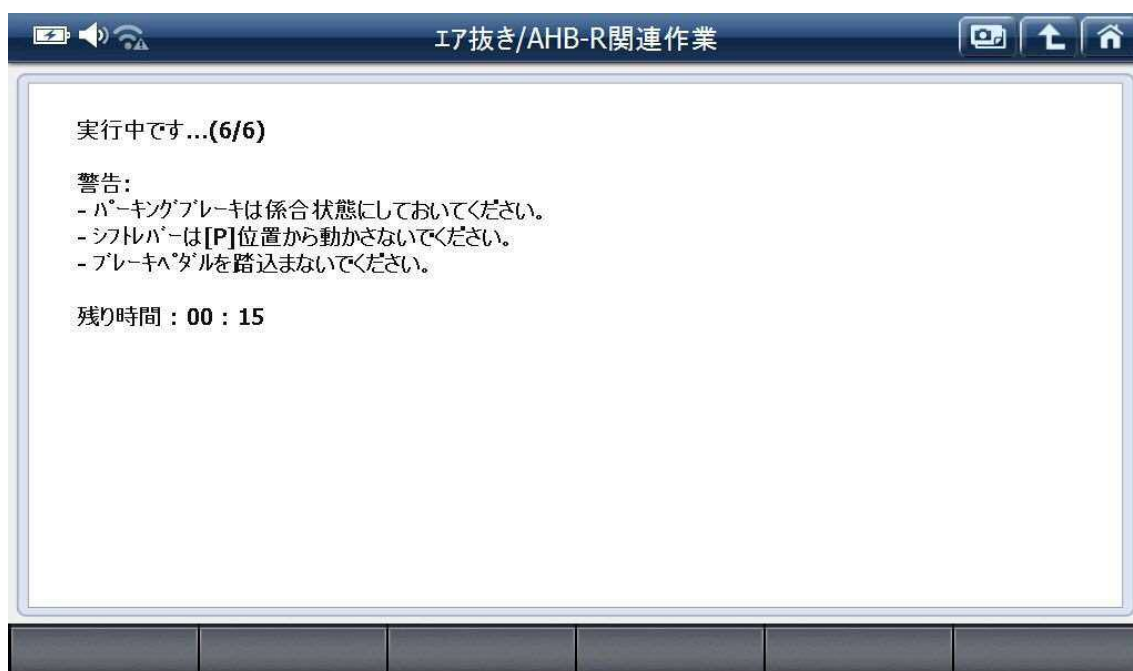
〈図:待機画面〉

19. ブレーキフルードを補充してください。



〈図:ブレーキフルード補充画面〉

20. 20 秒お待ちください。



〈図: 待機画面〉

21. エア抜き処理が完了したら、『OK』を選択して終了してください。



〈図: 完了画面〉